

# 第37回社会福祉士・第27回精神保健福祉士 国家試験解答速報

『2025年2月3日現在』

## 共通科目

### 【医学概論】

問題	解答欄
1	2
2	2
3	5
4	1・2
5	1
6	4

### 【心理学と心理的支援】

問題	解答欄
7	5
8	5
9	2
10	2
11	4
12	4

### 【社会学と社会システム】

問題	解答欄
13	3
14	5
15	2
16	2
17	1・2
18	1

### 【社会福祉の原理と政策】

問題	解答欄
19	3
20	4
21	4
22	4
23	3
24	2・5
25	3
26	3
27	3

### 【社会保障】

問題	解答欄
28	1
29	5
30	2
31	4
32	1
33	2
34	4
35	3
36	4

### 【権利擁護を支える法制度】

問題	解答欄
37	5
38	1・5
39	4
40	1
41	1
42	5

### 【地域福祉と包括的支援体制】

問題	解答欄
43	3
44	1
45	3
46	2
47	4
48	5
49	1・5
50	2・4
51	3・4

### 【障害者福祉】

問題	解答欄
52	2
53	1
54	3
55	1
56	4
57	1・2

### 【刑事司法と福祉】

問題	解答欄
58	3
59	5
60	2
61	1・2
62	5
63	4・5

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。  
問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

## 社会福祉士専門科目

### 【ソーシャルワークの基盤と専門職】

問題	解答欄
64	3
65	3・5
66	4
67	1・5
68	2
69	2

### 【高齢者福祉】

問題	解答欄
85	2
86	3
87	1・4
88	1
89	5
90	1

### 【ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)】

問題	解答欄
109	1
110	2・3
111	1
112	3
113	4
114	4

### 【ソーシャルワークの理論と方法】

問題	解答欄
70	1
71	2
72	5
73	2・5
74	4
75	4
76	3・4
77	2
78	1・4

### 【児童・家庭福祉】

問題	解答欄
91	2・3
92	3
93	3・5
94	3
95	2・3
96	4

### 【ソーシャルワークの理論と方法(専門)】

問題	解答欄
115	2・4
116	3・5
117	4
118	2・5
119	5
120	2
121	2・4
122	3・4
123	3・4

### 【社会福祉調査の基礎】

問題	解答欄
79	5
80	4
81	4
82	3
83	3
84	4

### 【貧困に対する支援】

問題	解答欄
97	2
98	4
99	2
100	1・5
101	3
102	2・3

### 【福祉サービスの組織と経営】

問題	解答欄
124	1
125	2
126	5
127	2
128	5
129	2・5

### 【保健医療と福祉】

問題	解答欄
103	4・5
104	3・4
105	3
106	4・5
107	5
108	4

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。

問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

## 精神保健福祉士専門科目

### 【精神医学と精神医療】

問題	解答欄
1	3
2	1・3
3	4
4	3
5	2
6	4
7	2
8	1
9	5

### 【精神保健福祉の原理】

問題	解答欄
19	4
20	4
21	1
22	4
23	3
24	1・2
25	4
26	1
27	5

### 【精神障害リハビリテーション論】

問題	解答欄
37	4
38	5
39	2
40	2
41	3
42	1

### 【現代の精神保健の課題と支援】

問題	解答欄
10	5
11	2
12	3
13	4
14	3・5
15	1
16	3
17	5
18	1

### 【ソーシャルワークの理論と方法(専門)】

問題	解答欄
28	3
29	2
30	2
31	4・5
32	1・3
33	2
34	3
35	1
36	5

### 【精神保健福祉制度論】

問題	解答欄
43	5
44	4
45	4・5
46	2
47	4
48	2

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。  
問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

## 第 37 回（第 27 回） 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験講評

ふくし合格ネット 海老澤 浩史

### ◆全体として

#### 1) 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

共通科目については、近年は解きやすくなっているような傾向が続いていたが、新制度 1 回目の今回は、全体的に難易度が非常に上がっていた印象である。初めて取り上げられた知識も多くあっただけでなく、以前から出題されているような知識も、選択肢が具体例で取り上げられていたり、用語の説明が選択肢で問われていたりと、解答に迷ってしまった方も多かったのではないだろうか。ただ、そのような問題の中でも、基本事項を問うような問題ばかりで構成される科目もあったので、そのような問題を確実に得点できたかどうか合否を決めるポイントになっていたかと思われる。

難易度が高いと思われる科目は、「医学概論」、「権利擁護を支える法制度」、「地域福祉の包括的支援体制」、「刑事司法と福祉」、「社会福祉調査の基礎」あたりだろうか。特に「権利擁護を支える法制度」と「刑事司法と福祉」は難しく、ほとんど正答できなかつた方も多かったのではないだろうか。

逆に「心理学と心理的支援」、「社会保障」、「障害者福祉」、「ソーシャルワークの理論と方法」は、基本事項を問う問題が多く、高得点を狙うことも十分できた科目だった。

変わったところでは、精神保健福祉法の入院制度やレジリエンス等、重複しているような部分がある問題もいくつか見受けられていた。

五肢二択の問題は、全部で 15 問出題。36 回の 8 問に比べると大幅に増加していた。内訳は「医学概論」1 問、「社会学と社会システム」1 問、「社会福祉の原理と政策」1 問、「権利擁護を支える法制度」1 問、「地域福祉と包括的支援体制」3 問、「障害者福祉」1 問、「刑事司法と福祉」2 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職」2 問、「ソーシャルワークの理論と方法」3 問である。

今回の共通科目を解いている中で、難易度が高かった 25 回の社会福祉士試験のことを思い出してしまった。それくらい解きづらい問題が多いと感じるものだった。ただ、それが全てではなく、参考書や過去問で学習する基本事項の問題も出題されていたので、そのような問題を確実に押さえていくことが合格するためには重要と改めて感じさせる問題構成であった。

#### 2) 社会福祉士 専門科目

共通科目ほどではないが、全体的に近年の問題に比べて難易度の高い構成であったと思われる。事例問題も多く、連続的に解いていると集中力が低下するため、本来は解ける問題も解答する手元が狂ってしまうことも考えられる。事例問題は昨年と同様、状況をイメージして解くような問題が多かったが、選択肢で迷わせる要素は少なかったので、問題自体は比較的解きやすかつたのではないだろうか。

難しい問題が多いことは確かであるが、科目によっては基本事項を問うような問題が多く、高得点も十分狙うことができる科目もあった。

難易度が高い科目は「保健医療と福祉」、「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」ではないだろうか。特に「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」は、細かい点を問う問題が多く、解きづらいものだった。逆に「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」、「福祉サービスの組織と経営」は、以前の試験で問われた知識も多く、高得点が十分狙える科目だった。難しい科目であり得点できなかつたとしても、取りやすい科目で高得点を取得することができれば、合格ラインに到達することは可能である。

五肢二択の問題は、全部で 17 問出題。問題数が多かった 36 回が 12 問出題なので、今までよりも大きく増加していた。内訳は、「高齢者福祉」1 問、「児童・家庭福祉」3 問、「貧困に対する支援」2 問、「保健医療と福祉」3 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」1 問、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」6 問、「福祉サービスの組織と経営」1 問である。

専門科目も解きづらい問題が多かったが、一通り問題を確認してみると、参考書や過去問の学習で、ぎりぎり 6 割は取れる構成にはなっていた。参考書や過去問の繰り返し学習を積み重ねてきた方は、6 割以上の点数は取得できたのではないかと思われる。

### 3) 精神保健福祉士 専門科目

昨年の 26 回試験では、見慣れない用語等を問う問題や、出題率の低い項目から取り上げられる問題、用語の名称ではなく内容を問う問題等、難易度を上げるタイプの問題が多く出題されていたが、今回は基本事項を問う問題が多く、全体として非常に解きやすい印象である。

やや難易度が高い科目を挙げるとすれば「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」であろう。用語だけを問うような問題が少なく、用語の内容を聞く問題が中心だったので、解きづらいと感じた方もいたのではないだろうか。

ただ、参考書や過去問等で全く見かけないような知識はほとんどなかったので、今まで通り、過去問や参考書等での繰り返し学習を中心に進めていた方は、合格ラインに到達することができたのではないかと思われる。今後は、より基本事項を中心に問題が出題されてくるということを感じさせるような問題構成であった。

新制度になっても精神保健福祉法が中心ということは変わらず、何問も出題されていた。一方、同じように何問も出題されていた障害者総合支援法は、少し控えめの出題になっていた。過去の出題実績から大事な項目を把握して重点的に押さえておくことは、今後の試験対策としても効果的な学習方法である。

五肢二択の問題は、全部で 6 問出題。旧制度よりも出題の割合は減少していた。内訳は、「精神医学と精神医療」1 問、「現代の精神保健の課題と支援」1 問、「精神保健福祉の原理」1 問、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」2 問、「精神保健福祉制度論」1 問。

## ◆合格ライン

### 1) 社会福祉士

近年、共通科目が易しくなり、専門科目が難しくなるような傾向があったが、今回はどちらも難化する傾向が見られていた。今回の試験も合格率は 40%~60%くらいまでになる可能性はあるが、この難易度で 6 割以上の点数を取得した方が 40%~60%いるとは考え難い。そのため、合格率を上げるために合格ラインをかなり下げることが考えられるので、合格ラインは正答率 50%近くの 66 点と予想する。

専門科目のみについても難易度が上がったことを踏まえ、合格ラインは 6 割をやや下回る 26 点と予想する。

### 2) 精神保健福祉士

精神保健福祉士の専門科目は、昨年までの傾向から一転して解きやすい問題が多く、難易度は下がったのではないかと思われる。ただ、前述の通り、共通科目が非常に難しくなっているので、全体としての得点はあまり上がらないことが考えられる。60%程度の合格率で考えた場合に、6 割の 79 点に到達でき

た方は少ないのではないかとと思われるので、6割を下回り、**合格ラインは73点と予想**する。

専門科目のみについては、難易度が下がったことで、6割の29点に到達する方が多くなることを踏まえ、全体の得点率上昇の影響により**合格ラインは30点になると予想**する。

以下、科目別の傾向等を示す。

#### ◆科目別出題傾向

##### 1) 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

###### 事例問題

共通科目では26問出題。前回の36回試験が15問だったので、大きく増加した。事例問題が出題された科目は、「医学概論」1問、「心理学と心理的支援」1問、「社会保障」3問、「権利擁護を支える法制度」3問、「地域福祉と包括的支援体制」4問、「障害者福祉」2問、「刑事司法と福祉」3問、「ソーシャルワークの基盤と専門職」2問、「ソーシャルワークの理論と方法」6問、「社会福祉調査の基礎」1問である。

###### 〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

###### ■「医学概論」

###### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
ライフステージにおける心身の変化と健康問題	問題1	○
心身の加齢・老化	問題2	△
基幹系と臓器の役割	問題3	○
疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション	問題4。問題5	×・×
健康増進と保健医療対策	問題6	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題1は思春期・青年期に関する問題。
- ・問題2は高齢者における薬害有害事象の発生予防や発生時の対処方法に関する問題。
- ・問題3は筋骨格系に関する問題。
- ・問題4は難病に関する問題。
- ・問題5は肺炎に関する問題。
- ・問題6は精神保健福祉法の入院制度に関する問題。

###### ■「心理学と心理学的支援」

###### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
認知	問題7	○
人と環境	問題8	○
生涯発達	問題9	○

健康生成論	問題 10	○
心理的支援の基本的技法	問題 11	○
心理療法におけるアセスメント と介入技法の概要	問題 12	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 7 はエピソード記憶に関する問題。
- ・ 問題 8 は社会的抑制に関する問題。
- ・ 問題 9 はエリクソンの発達段階からの問題。
- ・ 問題 10 はレジリエンスに関する問題。
- ・ 問題 11 はマイクロマウンセリングに基づく面接の最初の段階の応答を問う問題。
- ・ 問題 12 は認知行動療法に関する問題。

## ■「社会学と社会システム」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
組織と集団	問題 13	○
地域	問題 14・問題 15	○・△
家族と世帯	問題 16	△
差別と偏見	問題 17	△
災害と復興	問題 18	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 13 は集団の概念に関する問題。
- ・ 問題 14 は都市の研究者に関する問題。
- ・ 問題 15 は過疎関連法と関連統計に関する問題。
- ・ 問題 16 は国民生活基礎調査に関する問題。
- ・ 問題 17 は差別や偏見に関する問題。
- ・ 問題 18 は災害関連の問題。

## ■「社会福祉の原理と政策」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
欧米の社会福祉の歴史的展開	問題 19	○
日本の社会福祉の歴史的展開	問題 20	○
社会福祉の概念・理念	問題 21	○
福祉政策と包括的支援	問題 22・問題 23	×・×
関連政策	問題 24・問題 27	△・△

福祉政策の構成要素	問題 25	○
福祉供給過程	問題 26	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 1 はイギリスの社会福祉の歴史に関する問題。
- ・ 問題 2 は日本の社会福祉の歴史に関する問題。
- ・ 問題 21 はノーマライゼーションに関する問題。
- ・ 問題 22 は SDGs に関する問題。
- ・ 問題 23 は多文化共生社会に関する問題。
- ・ 問題 24 は「国民の健康の増進を図るための基本的な方針」に関する問題。
- ・ 問題 25 は措置制度に関する問題。
- ・ 問題 26 は福祉事務所に関する問題。
- ・ 問題 27 は間接差別に関する問題。

## ■「社会保障」

### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
社会保障制度の体系	問題 28・問題 32・問題 34	○・○・△
社会保障制度の歴史	問題 29	○
社会保障給付費	問題 30	○
社会保障の費用負担	問題 31	○
年金保険制度の概要	問題 33	△
労災保険制度と 雇用保険制度の概要	問題 35	○
諸外国における 社会保障制度の概要	問題 36	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 28 は社会保険制度の被保険者を横断的に問う問題。
- ・ 問題 29 は日本の社会保障の歴史を問う問題。
- ・ 問題 30 は社会保障費用統計からの出題。
- ・ 問題 31 は社会保障の給付に係る国の負担に関する問題。
- ・ 問題 32 は社会保険の適用に関する問題。
- ・ 問題 33 は年金給付に関する問題。
- ・ 問題 34 は社会保険制度の適用に関する問題。
- ・ 問題 35 は雇用保険制度に関する問題。
- ・ 問題 36 は諸外国の公的医療と公的年金の制度に関する問題。

## ■「権利擁護を支える法制度」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
親族	問題 37	△
虐待防止法の概要	問題 38	△
差別禁止法の概要	問題 39	○
権利擁護に関わる組織、 団体、専門職	問題 40	○
成年後見制度の最近の動向	問題 41	△
後見の概要	問題 42	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 37 は三親等に関する問題。
- ・ 問題 38 は障害者虐待防止法に関する問題。
- ・ 問題 39 は障害者差別解消法に関する問題。
- ・ 問題 40 は権利擁護の方針を検討する問題。
- ・ 問題 41 は成年後見制度の利用促進に関する問題。
- ・ 問題 42 は成年後見制度に関する問題。

## ■「地域福祉と包括的支援体制」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
地域福祉の推進主体	問題 43	○
福祉における財源	問題 44	○
市町村地域福祉計画・都道府県 地域福祉支援計画の内容	問題 45	○
福祉計画の実施と評価	問題 46	×
地域社会の変化	問題 47	△
包括的支援体制	問題 48	×
福祉以外の分野との 機関協働の実際	問題 49	○
非常時や災害時における法制度	問題 50	×
地域福祉ガバナンス	問題 51	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 43 は福祉の担い手に関する問題。
- ・ 問題 44 は地方財政に関する統計の問題。
- ・ 問題 45 は「地域福祉（支援）計画策定状況等の調査結果概要」に関する問題。

- ・ 問題 46 はプログラム評価に関する問題。
- ・ 問題 47 は日本の世帯や地域社会などの動向に関する問題。
- ・ 問題 48 は包括的支援体制に関する問題。
- ・ 問題 49 は社会福祉協議会の対応に関する問題。
- ・ 問題 50 は災害時の支援に関する問題。
- ・ 問題 51 は重層的支援体制整備事業の進め方に関する問題。

## ■ 「障害者福祉」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
障害者の生活実態	問題 52	△
障害者総合支援法	問題 53	○
精神保健福祉法	問題 54	○
障害者差別解消法	問題 55	○
障害者雇用促進法	問題 56	○
障害者と家族等に対する支援 の実際（多職種連携を含む）	問題 57	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 52 は障害者の生活実態に関する統計の問題。
- ・ 問題 53 は障害者総合支援法に基づく基幹相談支援センターに関する問題。
- ・ 問題 54 は精神保健福祉法に基づく入院制度に関する問題。
- ・ 問題 55 は障害者差別解消法に関する問題。
- ・ 問題 56 は障害者雇用促進法に関する問題。
- ・ 問題 57 は障害者に対する実際の支援を問う問題。

## ■ 「刑事司法と福祉」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
刑法	問題 58	×
刑事事件の手続き、処遇	問題 59	△
保護観察	問題 60	△
団体・専門職等の役割と連携	問題 61	○
医療観察制度の概要	問題 62	○
犯罪被害者支援に関する制度	問題 63	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 58 は刑法に基づく犯罪の成立要件と責任能力に関する問題。

- ・ 問題 59 は刑事事件の手続きに関する問題。
- ・ 問題 60 は保護観察に関する問題。
- ・ 問題 61 は更生保護に関わる人または組織に関する問題。
- ・ 問題 62 は医療観察制度の地域処遇に関する問題。
- ・ 問題 63 は犯罪被害者等基本法に関する問題。

## ■「ソーシャルワークの基盤と専門職」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉士及び介護福祉士法	問題 64	○
ソーシャルワークの定義	問題 65	△
ソーシャルワークの理念	問題 66	○
ソーシャルワークの援助関係の 意義	問題 67	○
ソーシャルワークの形成過程	問題 68	△
専門職倫理の概念	問題 69	×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 64 は社会福祉士及び介護福祉士法の義務等の規定に関する問題。
- ・ 問題 65 はソーシャルワーク専門職のグローバル定義に関する問題。
- ・ 問題 66 はソーシャルロールバリゼーションに関する問題。
- ・ 問題 67 はスーパービジョンの助言を問う問題。
- ・ 問題 68 はセツルメントに関する問題。
- ・ 問題 69 はドルゴフらの倫理原則に関する問題。

## ■「ソーシャルワークの理論と方法」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
ミクロ・メゾ・マクロレベルに おけるソーシャルワーク	問題 70	○
ソーシャルワークの様々な実践 モデルとアプローチ	問題 71・問題 72	○・△
支援の実施	問題 73	○
プランニング	問題 74	○
支援の終結と事後評価	問題 75	○
グループワークの原則	問題 76	○
グループワークの展開過程	問題 77	○
スーパービジョンの意義、 目的、方法	問題 78	○

- ・ 問題 70 は地域生活定着支援センターに関する問題。
- ・ 問題 71 は問題解決アプローチに関する問題。
- ・ 問題 72 は様々な実践モデルやアプローチに関する問題。
- ・ 問題 73 は事例場面での対応を問う問題。
- ・ 問題 74 は支援計画を立てる段階での援助に関する問題。
- ・ 問題 75 はソーシャルワークの事後評価に関する問題。
- ・ 問題 76 はコノプカのグループワークの原則に関する問題。
- ・ 問題 77 はグループワークの準備期で行うことを問う問題。
- ・ 問題 78 はスーパービジョンに関する問題。

## ■ 「社会福祉調査の基礎」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉調査と社会福祉の 歴史的関係	問題 79	△
社会福祉調査における倫理	問題 80	○
質問紙の作成方法と留意点	問題 81	×
質問紙の配布と回収	問題 82	○
量的調査の集計と分析	問題 83	△
面接法	問題 84	○

- ・ 問題 79 はブースのロンドン調査に関する問題。
- ・ 問題 80 は調査における倫理に関する問題。
- ・ 問題 81 は質問紙の作成方法に関する問題。
- ・ 問題 82 は自計式調査、他計式調査に関する問題。
- ・ 問題 83 は量的調査の分析方法に関する問題。
- ・ 問題 84 は面接法に関する問題。

## 2) 社会福祉士専門科目

### 事例問題

専門科目では 23 問出題。問題数が 67 問あった 36 回の 20 問よりも多かった。共通科目も含めると 49 問が事例問題であり、今後も多くの事例問題が出題されてくるであろう。事例問題が出題された科目は、「高齢者福祉」3 問、「児童・家庭福祉」3 問、「貧困に対する支援」3 問、「保健医療と福祉」3 問、「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」2 問、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」7 問、「福祉サービスの組織と経営」2 問であった。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「高齢者福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
高齢者の生活実態	問題 85	△
高齢者福祉制度の発展過程	問題 86	○
介護保険法	問題 87・問題 90	○・○
育児・介護休業法	問題 88	△
関連する専門職等の役割	問題 89	○

- ・ 問題 85 は高齢社会白書の問題。
- ・ 問題 86 は日本の高齢者福祉制度の歴史に関する問題。
- ・ 問題 87 は介護保険法の介護報酬等に関する問題。
- ・ 問題 88 は育児・介護休業法に関する問題。
- ・ 問題 89 は専門職の役割に関する問題。
- ・ 問題 90 は介護保険のサービスに関する問題。

■「児童・家庭福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
児童福祉法	問題 91・問題 94	○・○
児童虐待防止法	問題 92	△
DV 防止法	問題 93	○
児童の権利	問題 95	×
困難女性支援法	問題 96	○

- ・ 問題 91 は児童福祉法に基づく意見表明等支援事業に関する問題。
- ・ 問題 92 は児童虐待防止法に基づく市町村の対応を問う問題。
- ・ 問題 93 は DV に対するきき介入の対応を問う問題。
- ・ 問題 94 は障害児支援に関する問題。
- ・ 問題 95 はこども基本法に関する問題。
- ・ 問題 96 は困難女性支援法に関する問題。

■「貧困に対する支援」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
生活保護法	問題 97・問題 98	△・○
生活困窮者自立支援法	問題 99	△

低所得者対策	問題 100	○
貧困に対する支援の実際	問題 101・問題 102	○・○

- ・ 問題 97 は生活保護法の扶助に関する問題。
- ・ 問題 98 は生活保護の申請に関する問題。
- ・ 問題 99 は生活困窮者自立支援法に関する問題。
- ・ 問題 100 は生活福祉資金貸付制度に関する問題。
- ・ 問題 101 は生活困窮者自立支援機関の相談支援員の対応を問う問題。
- ・ 問題 102 は福祉事務所の現業員の対応を問う問題。

### ■「保健医療と福祉」

#### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉士の役割	問題 103・問題 104・問題 108	△・○・△
診療報酬制度の概要	問題 105	○
保健医療に係る倫理	問題 106	○
保健医療領域における 連携・協働	問題 107	×

- ・ 問題 103 は医療ソーシャルワーカーの対応を問う問題。
- ・ 問題 104 は医療ソーシャルワーカーの制度の説明を問う問題。
- ・ 問題 105 は診療報酬制度に関する問題。
- ・ 問題 106 はビーチャムの医療倫理の4原則に関する問題。。
- ・ 問題 107 は「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」からの問題。
- ・ 問題 108 は医療ソーシャルワーカー業務指針からの問題。

### ■「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」

#### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
ソーシャルワーク専門職の 概念と範囲	問題 109	△
社会福祉士の職域	問題 110	△
福祉行政等における専門職	問題 111	○
諸外国の動向	問題 112	×
ミクロ・メゾ・マクロレベルに おけるソーシャルワーク	問題 113	○
民間の施設・組織における ソーシャルワーク	問題 114	△

- ・問題 109 はソーシャルワークの専門職化に関する問題。
- ・問題 110 は認定社会福祉士に関する問題。
- ・問題 111 は福祉行政の専門職に関する問題。
- ・問題 112 はバークレイ報告に関する問題。
- ・問題 113 はミクロ・メゾ・マクロレベルの介入に関する問題。
- ・問題 114 は医療ソーシャルワーカーのアドボカシーを意図した対応を問う問題。

## ■「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」

### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
援助関係の形成方法	問題 115	○
アウトリーチ・ソーシャル アクション	問題 116	○
面接技術	問題 117・問題 123	○・△
事例検討、事例研究	問題 118	△
カンファレンス	問題 119	○
総合的かつ包括的な 支援の考え方	問題 120	○
家族支援の実際	問題 121・問題	○
地域支援の実際	問題 122	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題 115 はバイステックの原則に関する問題。
- ・問題 116 はアウトリーチやソーシャルアクションに関する問題。
- ・問題 117 は面接技術に関する問題。
- ・問題 118 は事例検討における適切な発言を問う問題。
- ・問題 119 は事例検討における配慮すべきことを問う問題。
- ・問題 120 は総合的かつ包括的な支援を問う問題。
- ・問題 121 は複合的な課題を抱える家族への支援に関する問題。
- ・問題 122 は地域住民との協働の仕方に関する問題。
- ・問題 123 は面接時の対応を問う問題。

## ■「福祉サービスの組織と経営」

### 出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
福祉サービスを提供する組織	問題 124・問題 125	○・○
リーダーシップに関する 基礎理論	問題 126	○

適切な福祉サービスの管理	問題 127	○
情報管理	問題 128	○
会計管理と財務管理	問題 129	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 124 は社会福祉法人と NPO 法人に関する問題。
- ・ 問題 125 は 2016 年の社会福祉法改正に関する問題。
- ・ 問題 126 はリーダーシップ理論に関する問題。
- ・ 問題 127 は苦情を受け付ける機関に関する問題。
- ・ 問題 128 は個人情報保護法に関する問題。
- ・ 問題 129 は社会福祉法人の財務に関する問題。

### 3) 精神保健福祉士専門科目

#### 事例問題

19 問出題。そのうち 3 問構成の長文の事例問題は、4 題出題されていた。出題数は今後の試験の目安になるであろう。長文の事例問題は、集中して文章を読まないで簡単な問題も落としてしまう可能性があるがあるので、過去問等の実際の問題を何度も解いて慣れておくことが重要である。

#### 〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

##### ■ 「精神医学と精神医療」

#### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神療法	問題 1・問題 6	○・○
代表的な疾患とその症状、経過、予後	問題 2・問題 3	○・○
精神障害の概念	問題 4	○
精神疾患の診断分類	問題 5	△
精神科医療機関における精神保健福祉士の役割	問題 7	△
医療観察法における入院・通院治療	問題 8	○
精神医療と保健、福祉の連携の重要性	問題 9	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 1 は精神療法から出題。
- ・ 問題 2 は神経性無食欲性から出題。
- ・ 問題 3 は神経症性障害から出題。

- ・問題4はうつ病の精神症状を問う問題。
- ・問題5はDSM-5に基づく自閉スペクトラム症の症状を問う問題。
- ・問題6は社会生活技能訓練からの問題。
- ・問題7は精神科病院での虐待発見時の対応を問う問題。
- ・問題8は医療観察法から出題。
- ・問題9は連携に関する問題。

## ■「現代の精神保健の課題と支援」

### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神保健の動向	問題10	○
精神保健活動の三つの対象	問題11	○
精神保健の予防の考え方	問題12	×
学校教育における 精神保健的課題	問題13	△
スクールソーシャルワーカーの 役割	問題14	○
職場のメンタルヘルスの ための相談	問題15	○
産業精神保健とその対策	問題16	○
自殺予防	問題17	○
保健師等の役割と連携	問題18	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・問題10は「患者調査」の統計を問う問題。
- ・問題11は精神保健活動の対象についての問題。
- ・問題12は症候群を問う事例問題。
- ・問題13は少年法の定義を問う問題。
- ・問題14はスクールソーシャルワーカーに関する問題。
- ・問題15はハラスメントに関する問題。
- ・問題16はストレスチェック制度に関する問題。
- ・問題17は自殺予防の問題。
- ・問題18は保健師に関する問題。

## ■「精神保健福祉の原理」

### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
障害者福祉の理念	問題19	○

障害者福祉の歴史的展開	問題 20	○
原理・価値	問題 21	△
家族	問題 22	△
「精神保健福祉士」の 資格化に至る経緯	問題 23	○
精神保健福祉士法	問題 24	○
精神保健福祉士の業務内容と 業務指針	問題 25・問題 26・問題 27	△・○・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 19 は障害者福祉の理念に関する問題。
- ・ 問題 20 は精神保健福祉法の法律の変遷が問われている問題。
- ・ 問題 21 は精神科病院に入院中の状態像に関する問題。
- ・ 問題 22 は精神保健福祉法に基づく家族の権利・義務に関する問題。
- ・ 問題 23 は精神保健福祉士法成立の社会的背景を問う問題。
- ・ 問題 24 は精神保健福祉士法の義務等の規定に関する問題。
- ・ 問題 25 は精神保健福祉士の関わり方の問題。
- ・ 問題 26 は精神保健福祉士の支援の理由を問う問題。
- ・ 問題 27 は精神保健福祉士の関わり方の問題。

#### ■「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
援助関係の形成技法	問題 28	○
面接技術とその応用	問題 29・問題 34	○・○
支援の展開	問題 30	△
チームの形態と特徴	問題 31	△
コミュニティワーク	問題 32	×
ソーシャルアクション	問題 33	○
精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開（事例分析）	問題 35・問題 36	△・△

- ・ 問題 28 は援助関係についての問題。
- ・ 問題 29 は面接技法に関する問題。
- ・ 問題 30 はナラティブアプローチに関する問題。
- ・ 問題 31 はチームアプローチのモデルに関する問題。
- ・ 問題 32 はコミュニティワークに関する問題。
- ・ 問題 33 はソーシャルアクションに関する問題。
- ・ 問題 34 は面接時の声かけに関する問題。

- ・ 問題 35 は地域移行支援に関する問題。
- ・ 問題 36 は地域移行支援に関する問題。

### ■「精神障害リハビリテーション論」

#### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神障害リハビリテーションの 基本原則	問題 37	○
地域及びリカバリー概念を 基盤としたリハビリテーション の意義	問題 38	○
社会リハビリテーション プログラム	問題 39	○
精神障害当事者や家族を主体と したリハビリテーション	問題 40	○
家族支援プログラム	問題 41	×
依存症のリハビリテーション	問題 42	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 37 はアンソニーの基本原則からの問題。
- ・ 問題 38 はリカバリーに関する問題。
- ・ 問題 39 は社会リハビリテーションプログラムに関する問題。
- ・ 問題 40 は家族に対する対応を問う問題。
- ・ 問題 41 はアルコール依存症の家族に対する支援プログラムに関する問題。
- ・ 問題 42 はセルフヘルプグループに関する問題。

### ■「精神保健福祉制度論」

#### 出題された項目

出題項目（大項目又は中項目）	問題	難易度※
精神保健福祉法の概要と 精神保健福祉士の役割	問題 43・問題 44・問題 46・ 問題 47	○・○・○ ○
生活保護制度と 精神保健福祉士の役割	問題 45	○
精神障害者に関する法律の体系	問題 48	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

- ・ 問題 43 は精神保健福祉法に関する問題。
- ・ 問題 44 も精神保健福祉法に関する問題。

- ・ 問題 45 は生活保護制度に関する問題。
- ・ 問題 46 は精神保健福祉法の入院制度に関する問題。
- ・ 問題 47 は精神保健福祉法の入院制度に関する問題。
- ・ 問題 48 は障害者総合支援法の精神通院医療に関する問題。



ふくし合格  
ネット